海老名市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況

区分	令和元年度～令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	20,890,691	9,054,000	29,944,691	54%	危険木の伐採、森林での体験学習等を行うツアーの開催、学校等への木製什器の整備に充当。
譲与額(円)	40,676,000	14,292,000	54,968,000		

■令和5年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	ナラ枯れ樹木処理委託	8,539,300	7,210,000	ナラ枯れ被害木の伐採およびくん蒸処理を実施。(30本)
木材利用および普及啓発	防災キャンプ	593,451	509,000	「災害時における相互応援に関する協定」により交流のある新潟県新発田市を海老名市内の小学生が訪問し、防災キャンプを実施。レクレーションの中で、森林整備活動や森林環境を学ぶ機会を設け、森林環境保全意識の普及啓発を図った。
	森林環境啓発体験ツアー	1,335,920	1,335,000	「災害時における相互応援に関する協定」により交流のある長野県須坂市を海老名市内の小学生等が訪問し、林業の体験事業を通じて森林環境が生活に与える影響を学び、森林環境保全意識の普及啓発を図った。(20組程度)
基金積立		5,238,000	5,238,000	
合計		15,706,671	14,292,000	

■今後の主な活用計画

森林整備

・公有林内の危険木伐採

木材利用および普及啓発

・協定により交流のある地域を小学生が訪問し、森林での体験学習を行う